

地域の脱炭素化に向けた取り組み

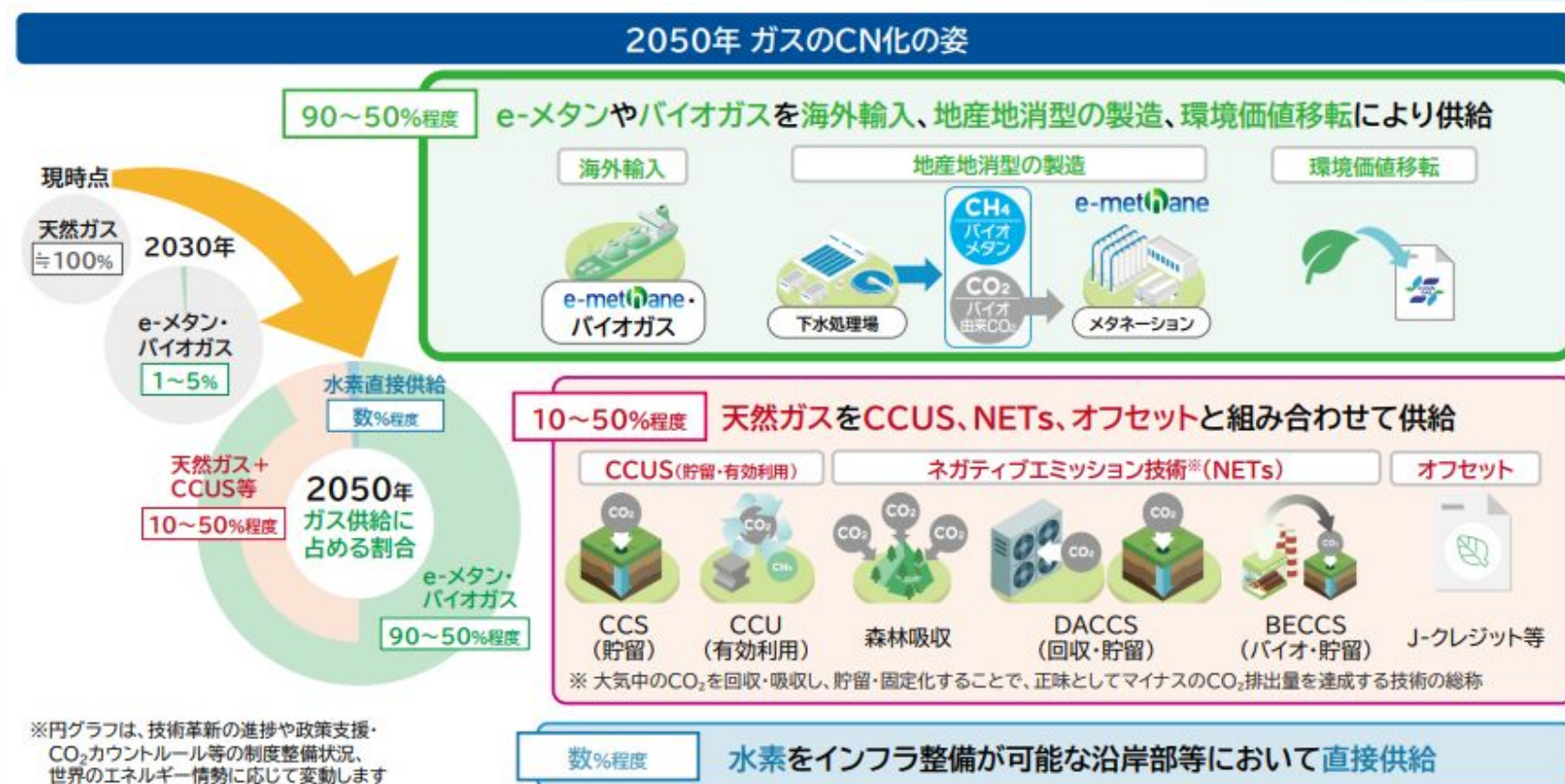
2025年10月18日
東邦ガス株式会社

1. 都市ガス業界が目指す将来像

1

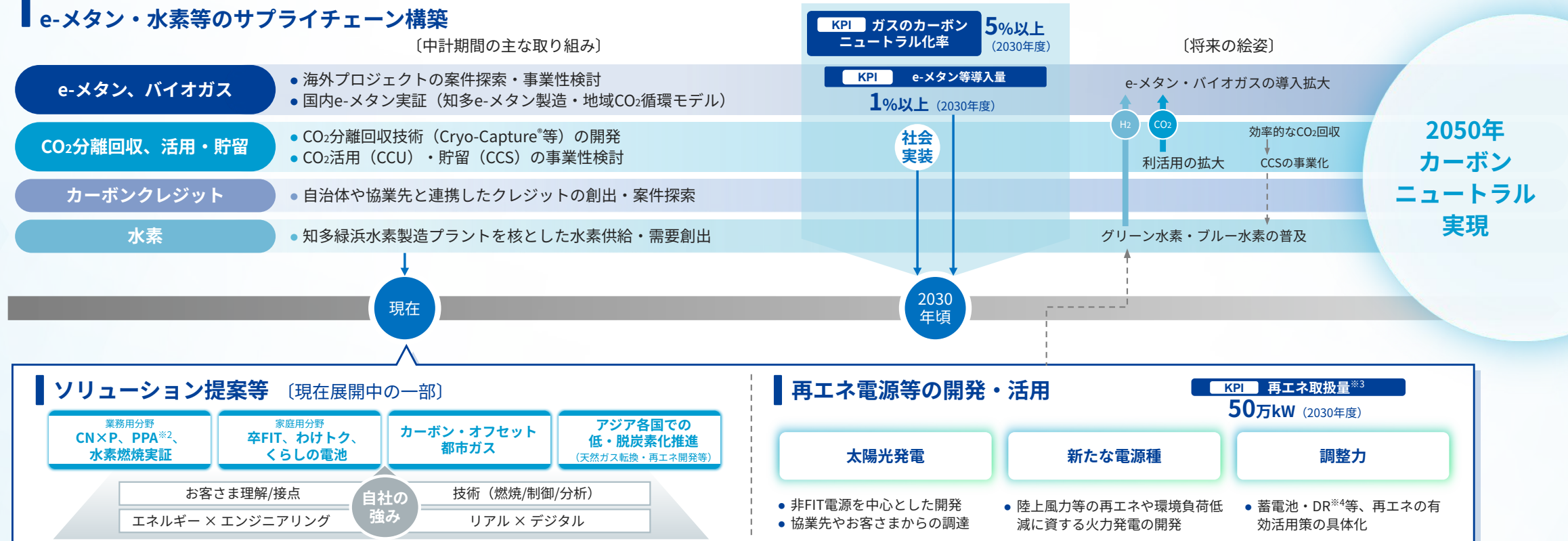
未来の、みんなかへ

- 日本ガス協会は、本年6月、「お客さまにとって最適なソリューションの提供」、「災害に屈しない社会・産業・地域構築への貢献」、「お客さま・地域のカーボンニュートラル(CN)実現」を使命として、都市ガス業界の未来像を示す「ガスビジョン2050」と、足元の具体的な取組みを示す「アクションプラン2030」を公表。
- e-メタン・バイオガス導入**を中心に取り組むとともに、革新技術の動向や世界のエネルギー情勢も踏まえ、**新技術やその時々**の最適な手段を用いて**ガスのCN化を実現**する方針。



- 当社は、本年3月に新たな中期経営計画(25～27年度)を公表し、その中で「CNへの使命と責任」を重点テーマの一つに設定。**足元から累積CO₂排出量の削減**に向け、国内外で熱分野の低炭素化に資する天然ガス普及拡大やソリューション提案に注力。
- e-メタン・バイオガス・水素等のサプライチェーン構築**を目指すとともに、**CO₂回収/貯留/利用やカーボンクレジット**など、多様な手段を組み合わせ、2050年のCN実現に向けた取組みを加速していく。

中期経営計画(2025～2027年度)



※1 多様な手段を通じ実現するカーボンニュートラル化率

※3 国内外における再エネ電源開発・保有、FIT電源、調達を含む

※2 当社グループまたは協業先が設備を所有・運営し、発電した電力をお客さまに供給してサービス料金をお支払いいただく仕組み

※4 お客さま先に設置された分散型エネルギーリソースの制御等を通じて電力需要パターンを変化させる仕組み

3. 地域脱炭素化に向けた活動(海外での取り組み)

3



- 当社は、2030年度に都市ガス販売量の1%以上のe-メタン・バイオガスを当地域へ供給することを目指し、北米・豪州を中心にパートナー企業と複数のプロジェクトに参画し、開発を推進中。
- 国際的なe-メタンのアライアンス「e-NG Coalition」に、欧米・アジアの複数の団体・企業とともに参画。e-メタンの世界的な普及拡大に向けて、ルールの整備などの活動を展開。



4. 地域脱炭素化に向けた活動(当地域での取組み①)

4

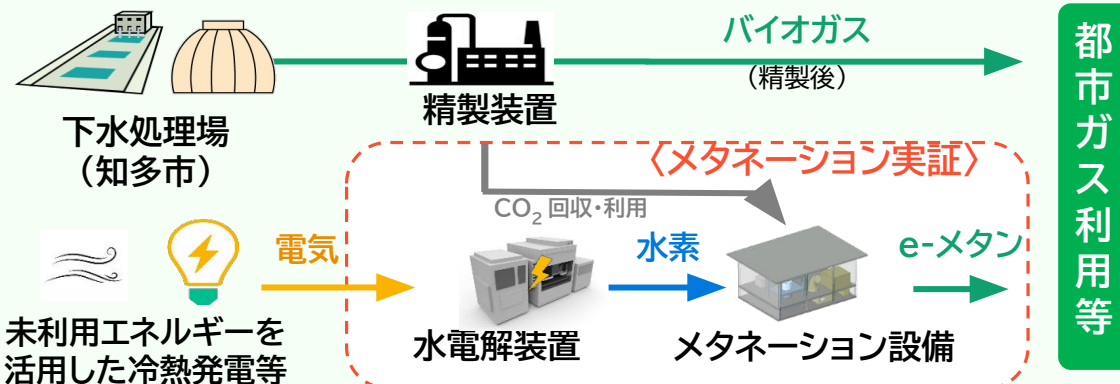


- 知多市において、**地域のCO₂を資源として都市ガス原料に活用するe-メタン製造実証**を開始し、技術・制度面での課題抽出に取り組市中。
- モビリティ向けをはじめとした当地域の水素ニーズに応えるべく、**水素ステーション事業や名古屋港におけるFC(燃料電池)商用車を中心とした水素供給インフラ検討**等を推進している。

知多e-メタン製造実証

■ バイオガス由来のCO₂と冷熱発電等の電力を利用したメタネーション実証
(e-メタンの都市ガス原料としての利用は国内初)

■ 知多市と連携した実証概要



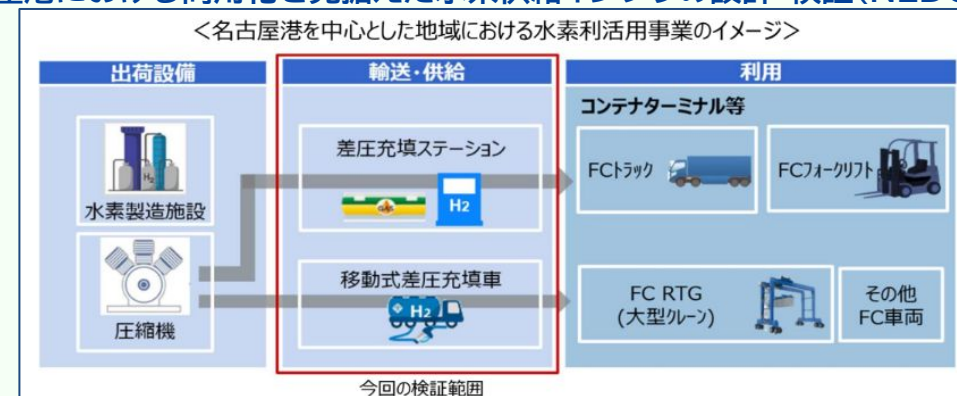
水素ニーズへの対応

■ FC商用車の導入促進



- 愛知県は、「FC商用車の導入促進に関する重点地域」に選定
- 2030年度までにFC商用車7,000台導入目標を掲げており、官民一体で水素の普及拡大を目指す。

■ 名古屋港における商用化を見据えた水素供給インフラの設計・検証(NEDO事業)

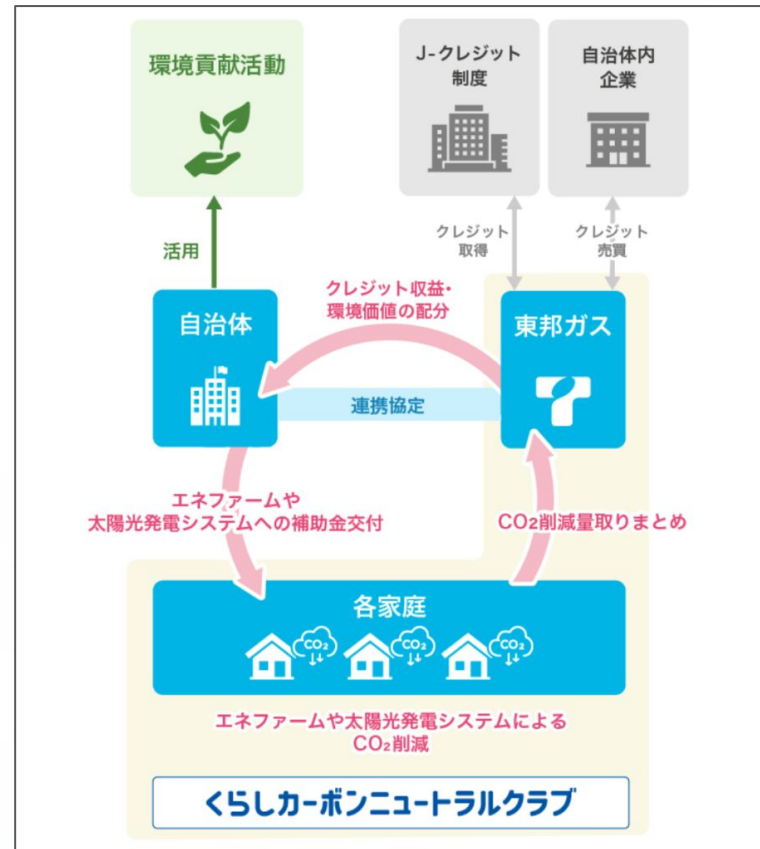


- CN実現や地域振興等、地域課題の解決に向けて、これまで**21の自治体と連携協定**を締結。
- 持続可能な社会の実現に向け、**J-クレジットの地産地消スキーム構築**や、エネルギー・環境への理解促進のための**教育活動、地域と連携したイベント開催**等を推進している。

自治体との連携



J-クレジット地産地消スキーム



e-メタン料理教室(岐阜県御嵩町)

